最短1日からレンタル可能

簡単に使えるパッケージを用意

高島ロボットマーケティング

高島ロボットマーケティング（以下TRM、東京都千代田区、TEL＝050−5433−8094）は、安全柵なしで設置できる協働ロボットのレンタルサービスに注力している。その特徴は「『最短1日から可能なレンタル』と『プログラム準備済みパッケージの提供』」である。1日から各種産業資材を扱う商社である高島の子会社として18年に設立。今後も成長が見込まれる産業ロボットの中でも、「協働ロボット」は特に市場の伸びが大きく、新規参入の余地もまだまだある。そこで立ち上げたのがTRMで、販売もできるが、現状の主業務は協働ロボットのレンタルサービスである。

その訴求対象のメーンは中小企業である。協働ロボットは操作の簡単さや制約が少ないため、これまで産業用ロボットをあまり使ってこなかった中小企業にも普及が見込める。レンタルで必要な時だけ使える協働ロボットは、人手不足に対応し、人件費も軽減して生産性を高めるための強力なツールになるはずだ。

必要な期間だけ安価に活用

ただ、導入する場合、具体的なロボットシステムの設計や構築は専門のSIer（システムインテグレータ）に依頼すればできるが、導入側も発注する際にどのようなシステムを作ってほしいかは、適切な要求仕様書はあまりない中小企業で作ることが難しい。

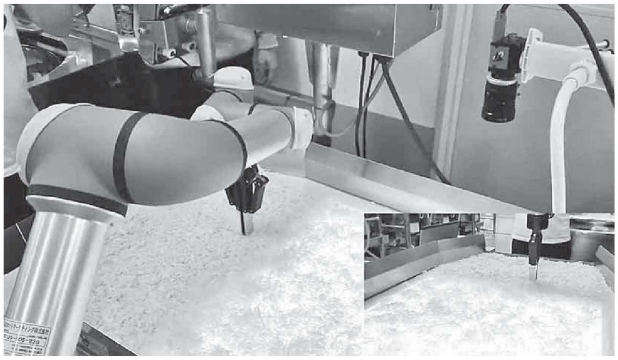
また、要求をすべて詰め込むとシステムが大掛かりになって高額になる難しくなる。これでは「手軽に自動化でき、プログラムの変更が簡単。その工程で不要になった場合も、移設して別工程で使える」という協働ロボットのメリットを生かすことはできない。

この課題を解決するのが、TRMのレンタルサービスだ。まずは協働ロボットを短期間借りてみて、さまざまな用途を検証すれば、どのような作業に最適かなどが分かるようになる。要求すべき仕様も具体的になるので、過剰スペックによるムダなコストも削減できる。もちろん、そのまま長期のレンタルも可能だ。

TRM以外にもロボットレンタルを手掛ける企業はあるが、半年以上など比較的長期のレンタルや、レンタル後の販売を前提とすることも多い。これに対し、同社はウェブ中心の拡販スタイルで、短期案件も多くこなしている。

また、ユーザーにとってはレンタル期間が短い分、安価で利用でき、必要に応じて最短1日から1日単位で自由度の高い期間設定ができる。利用時に設定したプログラムは、要望に応じて保管管理するので、リピート時もすぐに利用を再開できる。現在、同社が取り扱う協働ロボットブランドは、「ユニバーサルロボット」と「テックマンロボット」で、展示会用にお客様専用にハンドのカスタマイズが可能な「展示会パッケージ」を含む6種類のパッケージを提供中である。

なお同社は、来年1月19〜21日に東京ビッグサイトで開催される、工場・施設・オフィスで活躍するロボットが一堂に会し、導入に向けた相談もできる「第6回ロボデックス（ロボット開発・活用展）」（主催＝RXJapan）に出展。協働ロボットで「AIによる郵便物自動仕分け」「マシンテンディング」を実演する。



ユニバーサルロボットを使用した「AI食品検査システムDELICIOUS」開発の検証